

逗子大師

延命寺



延命寺風景



逗子大師

延命寺

由緒沿革

当山は今より約千二百五十年前、奈良時代聖武天皇の天平年中行基菩薩が開基され、御自作の延命地藏菩薩を安置された古刹である。

黄雲園延命寺旧記によれば、天平年中行基菩薩東国巡錫の折、当地に留錫し給い、夜中に黄雲が園林の上にたなびき延命地藏菩薩が忽然として端巖微妙の相を示現したまえるを見、菩薩仰信歡喜措く所を知らず、直ちに木を刻してその妙相を残し伽藍を草創したもうたとあり、これが当山の由来であり、往古は地藏菩薩を本尊としていた所以である。よって寺名は黄雲山地蔵密院延命寺と号し、高野山金剛峰寺末で古来は三浦地区の真言寺院の本寺であった。現在は高野山真言宗に属している。

平安時代に入り弘法大師下野の国二荒山登山のみぎり当山に立寄り地藏尊を安置する厨子を設けられて以来住民尊信の的となりいつしか当山所在の地域を厨子と呼ぶに至ったと伝えられている。

鎌倉時代に入っては三浦氏の一大いに当寺を修補して祈願寺としたが、室町時代の末には北条氏の三浦攻めに敗れた、一族の一人三浦道香主従がこの寺に入って自害する等のこともあった。



その後北条氏の帰依を得、天文年間には僧朝賢が中興した。天正十九年十一月には徳川家康より御朱印を下附されたが、慶長の末や、衰微の様を示すに及び、頼雄、榮尊の師資相ついで復興を計り、貞享年間伽藍竣工し新に大日如来の尊像を造立して本尊とした。爾後先師、檀越共によく当山を護持したが明治廿九年火災により鐘樓を残して本堂、客殿悉く烏有に帰し、更に関東大震災により仮本堂等九棟全潰の災厄にあうに至った。

大震災直前に当山に上山した七十一代本瑞は直ちに復興に着手し大正十三年十一月起工し十四年に旧本堂を完成した。県下における震災後寺院復興の嚆矢であったと伝えられる。その後は時代の変遷と共に老朽化且狹隘等の故により七十二代祐瑞、弘法大師御誕生壹千二百年記念事業として改築を發願、旧本堂を同宗の鎌倉等覺寺に呈上し、昭和四十九年起工昭和五十二年四月末完工、檀信徒の協力により新本堂の建立を見るに至り、更に新本堂の落慶を記念して逗子大師を公称することになった。

その後、日を逐って檀信徒及び参詣人の増加により、旧来の会館の狭小及び老朽の庫裡等の改築を發願し、七十三代宜圓、諸般の協力を得て、宗祖千五百年御遠忌記念事業として檀信徒会館及庫裡の建築に着手、即ち、昭和五十八年十月着工、昭和五十九年九月之を完成す、ここに大本堂と相連なって見事な殿堂を現出するに至った。

● 本尊（大日如来三尊）

大日如来 貞享四年（一六八七）作
 愛染明王 作者及年代不詳
 不動明王 〃



● 延命地藏菩薩

当山は、奈良時代に、行基菩薩が
 開創せられ、御自作の延命地藏を
 安置し、本尊とされたのが延命寺
 の由来である。

● 宗祖弘法大師像



● 阿弥陀三尊懸仏

（鎌倉時代の作）

逗子市指定文化財

もとは近くの八幡宮に御
 神体として祀られていた
 もので、その形は鐘のよ
 うに懸られるところから
 懸仏と呼ばれ、普通は円
 形板であるが当山の三尊
 は扇面であり、まさに珍
 品としてまた造りも精巧
 で御神体としての奥深い
 趣が人々を魅了している。



● 厨子弁財天

当山の弁財天は高野山より勧請したもので、左右の手に利剣と宝珠を持ち、その豊かな愛護によって深く諸人の崇敬をあつめている。音楽、弁財、財福、智慧の徳があるが代々は住職以外の一般には公開しなかつたものである。



● 願かけ地蔵

諸難、ことに交通安全を願う「お地藏さん」として信仰されている。

● 水子地藏

水子地藏の愛の手が、幸せうす子供たちを大きく深く、お救いくださっている。



● 三浦道香主従の墓

話は戦国時代で北条早雲が三浦義同が扱っていた平塚岡崎城を襲い敗退せしめた、兄義同は弟道香の守る小坪住吉城に退いたが時すでに遅く永正一〇年落城、三浦道香主従七名は落ちのびた末、当山で自害するにいたつたものである。

道香は沙彌道香と称す、道香の家臣菊池氏沙彌子祐（現菊池一族の先祖なり）地藏大士に回向してその冥福を祈る。此处に道香主従七名の墳墓が建てられ今日に至りて香煙絶ゆることがない。



● 動物愛護慰霊之碑

満州独立守備隊に配属された軍用犬、金剛と那智が夜戦任務中戦死、その働きが人々の胸を打ち小学校国語にも紹介された。その後育ての親板倉至少佐も戦死、遺族が住んでいた逗子町に戻って来た折、再び人々の感激が気運となって同境内に「忠犬の碑」が建立されるにいたつた。爾来、動物愛護の慰霊碑並びに納骨堂として祀られている。



● 大黒天





延命寺本堂



聖観世音菩薩



小本堂



本堂内部



檀信徒会館



会館和室の一部



会館大広間 (俊洗殿)

延命寺年中行事

1月	元旦～3日 第1日曜 21日 28日 元旦～15日	初護摩修行 逗子大師祭 初大師 初不動 弁財天御開帳	5月	第三日曜 28日	逗子大師祭 お不動さま	28日	お不動さま
2月	3日 15日	節分祭 星祭 涅槃会	6月	15日	青葉まつり	11月	15日 大般若転読法要
3月	20日	春彼岸法要	8月	13日 14～15日 16日 17日	幼稚園盆おどり 盆おどり 大施餓鬼法要 精霊おくり (逗子海岸)	12月	8日 成道会 21日 納大師 28日 納不動 31日 除夜の鐘
4月	8日	花まつり	9月	第3日曜 24日	逗子大師祭 秋彼岸法要	毎月の行事予定 1日 般若心経写経会(午後2時) 21日 お大師さま(午後2時)	



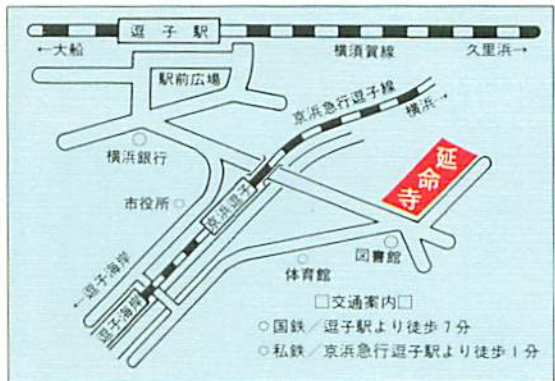
鐘楼堂



にぎわう大師祭



「生かせいのち」の鐘



高野山/真言宗

逗子大師 延命寺

逗子市逗子3-1-17 TEL 0468 (73) 9322

印刷発行 昭和59年10月21日

檀信徒会館及庫裡落慶記念

責任者 延命寺住職 神田 宜圓

延命寺式場使用料

遍照閣会館

会館で葬儀の場合(2日間)

25万円

式場 大広間(2階)
椅子席 100席完備

会場内容

1F 和室 (椅子24席)
洋室 (導師控室)
洋室 (4.5畳)
2F 大広間(式場)
和室 (椅子48席)

延命寺本堂

本堂で葬儀の場合(2日間)

30万円

式場 本堂(2階)
椅子席 150席完備

会場内容

1F 洋室 (椅子30席)
洋室 (椅子54席)
洋室 (応接間)
洋室 (導師控室)
2F 本堂 (式場)

【檀家以外対象】

本堂・会館(全館)

全館で葬儀の場合(2日間)

50万円

式場 本堂(2階)
椅子席 150席完備

会場内容

左記のお部屋を全てご使用頂けます

小会場

15万円(2日間)

少人数のご葬儀をご希望される方のご葬儀も出来ます

(50名までの葬儀が出来ます)

詳細 1F 小本堂(式場)

洋室 椅子30席

(その他、導師控室と応接間がございます)

下記の様な組み合わせも可能です。

会館全館と本堂一階

35万円(2日間)

本堂全館と会館一階のみ又、二階のみ

40万円(2日間)

◎当山でのご宿泊はご遠慮頂いております。

◎お通夜は、18時開式の場合は19時まで、19時開式の場合は20時までとさせて頂いております。

◎ご利用に関して、在来仏教並びに、神道のみご利用可能です。

ご不明な点は寺務所までお問い合わせ下さい

電話 046(873)9322

FAX 046(873)5946

